

どえりゃあ ええがね

たくさんの参加申込ありがとうございます！

参加申込数 205 名となりました！！



ホテルにはまだほんの少しゆとりがあるそうです！

追加での申込がまだ間に合いますので
お申込みまだの方はお急ぎください！！



演題エントリー数



現在 51 題



(10月3日時点)

まずはエントリーシートのご提出をお願いいたします。

まだ間に合いますのでたくさんのエントリーをお待ちしています！

今後の予定



演題エントリー：9月30日締め切り

(まだの方はお早めにエントリーをお願いします)



抄録提出：9月1日～10月31日



パワポ提出：10月1日～11月30日

愛知県プチ情報

朝からちょっと贅沢。愛知のモーニング文化



「コーヒーを一杯頼んだら、パンと卵が付いてきた！」
 県外の人が初めて愛知を訪れたときに驚くのが、この“モーニング文化”です。喫茶店でコーヒーを注文すると、トーストやゆで卵は当たり前。お店によっては、サラダやデザート、時には茶碗蒸しまで出てくることも。まるで小さな朝ごはんがそのまま付いてくるようなお得感は、愛知ならではの魅力です。
 この文化のルーツは、昭和の喫茶店。常連さんにゆっくりくつろいでもらいたい、そんな気持ちから始まったといわれています。以来、モーニングは「朝の社交場」として、人々をつなげる役割を果たしてきました。
 名古屋市内はもちろん、郊外の町にある昔ながらの喫茶店でも、朝から多くの人が集まり、世間話に花を咲かせています。観光で訪れたなら、ぜひ地元の喫茶店の扉を開けてみてください。そこには、コーヒーの香りと一緒に、愛知の暮らしそのものが流れているはずです。

名古屋駅の“巨大マドンナ” ナナちゃん人形

名古屋駅前を歩いていると、ふいに現れる大きな女性——それが「ナナちゃん人形」です。高さは約6メートル、名鉄百貨店前に立つその姿は、名古屋っ子にとって“待ち合わせの定番スポット”であり、街のシンボルでもあります。
 ナナちゃんが面白いのは、季節やイベントに合わせて衣装が変わること。新作映画のキャンペーンで大胆なコスチュームを着たり、スポーツシーズンにはチームカラーをまったり。時には「え、そんな格好まで!？」と驚かされるほどユニークな装いもあり、通りがかる人の目を楽しませてくれます。
 地元の人にとっては「今日はどんな服を着ているのかな?」とつい気になる存在。観光で訪れた人にとっても、ちょっと立ち寄りたくなるフोटスポットです。
 名古屋駅の賑わいの中に、静かに、でもしっかりと立ち続けるナナちゃん。彼女の衣装を眺めながら、「ああ、今この街はこんな季節なんだ」と感じられるのもまた、名古屋らしい日常の風景なのかもしれません。



愛知の味は“赤”でできている



名古屋めしの話題になると、必ず登場するのが「赤味噌」。八丁味噌に代表される豆味噌は、愛知県の食文化を語るうえで欠かせない存在です。
 その特徴は、なんといっても濃厚で深いコク。大豆だけを原料にし、じっくり時間をかけて熟成させることで生まれる赤褐色の味噌は、見た目こそ濃いけれど、口を含むとクセになる旨みがあります。味噌汁はもちろん、味噌カツ、どて煮、味噌煮込みうどん——愛知のソウルフードには、必ずこの赤味噌が寄り添っています。
 県外の人からは「ちょっと味が濃いんじゃない?」と言われることもありますが、地元の人にとっては“ほっとする味”。子どもの頃から食卓に並び、いつの間にか体に染みついていく味わいなのです。
 観光で訪れるなら、ぜひ赤味噌料理をひとつは味わってみてほしい。最初は少し驚くかもしれませんが、食べ終わる頃には「やっぱりご飯に合う!」と感じているはず。赤味噌は、まさに愛知の暮らしと心を映す、もうひとつのシンボルなのです。